



おおにしだより

第24号

平成25年5月15日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

風薫る5月。青葉若葉の輝きがひときわ美しく映える季節となりました。校庭周りのハナミズキや葉桜の間から吹く風の心地よさを感じ、若葉の匂いを存分に吸っては清々しい気分になります。進級・進学して1カ月を過ごし、本校の子どもたちは皆、この若葉のように枝葉を伸ばそうと懸命に頑張っています。

「登下校見まもり隊」(学校安全ボランティア)の皆様へ感謝

栃木市では、登下校時における事件・事故が大きな社会問題となっている昨今の状況を踏まえ、子どもたちが、安心して登下校できるように「登下校見まもり隊」(学校安全ボランティア)の募集を行いました。

その結果、本校では老人会や育成会を含め、8つの自治会から、217名もの皆様にご協力いただくことになりました(H25.5.8現在)。本校学区内では、すでに子どもたちの登下校を見守ってくださっている団体や個人の方が多数おられましたが、保険等の対応のため、新たにご登録いただくことになりました。

◎活動内容例

- ・登下校する子どもたちへの付き添い
- ・登下校の際、ポイントとなる場所(交差点など)での見守りや声かけ

◎活動時間

- ・子どもたちの登下校時間帯

◎補償

- ・ご登録いただいた方が、万一、活動中にケガをした場合は、栃木市で加入する保険で補償します。



安全に登下校

このような「地域の子どもは地域で育てる」というすばらしい取組みに対し、心から感謝申し上げます。今後とも、児童の安全確保にご尽力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。ただ、関係者の方々に負担がかかりすぎていないか学校では心配しております。特に、天候不順の時などは大変なことだと思います。どうか、体調には十分にご留意ください。なお、見守りに際しましては、

「無理をせず、できる日、できる時間に、できるやり方」をお願いいたします。

☆☆通学路点検を実施☆☆

5月8日(水)、学区内の通学路点検を行いました。今回は、各自治会担当の教職員が児童と一緒に下校し、通学路危険箇所の確認及び安全な歩行の仕方について指導を行いました。

【通学路点検結果(主なもの)より】

- 朝の時間帯は進入禁止区域であるにもかかわらず通行する車がある。
 - ⇒ 西小北側道路は、スクールゾーン区間であるため、県道バイパスからの侵入はできません。また、バイパスに出て行くこともできません。7時~8時30分の時間帯は、「一乗院様」の横を通り、大平下駅方面に北進するようお願いいたします。
- 通学路周辺には住宅街が多く、見通しの悪い十字路がたくさんある。歩道の幅も狭く、ガードレールがない。通過する車との間隔が近く、接触が心配である。
 - ⇒ ガードレール設置については、昨年度、関係課をお願いしてきました。学校では、車道にはみ出さないように、正しい歩行の仕方を繰り返し指導しています。
- 学校東側の横断歩道橋は、階段の傷みがひどく大変危険である。
 - ⇒ 県道の管理は、県土木事務所が行っています。学校でも関係課を通して修理をお願いしています。また、自治会の方も行政に対し改善をお願いして下さっています。
- 天気がよい日でも、車で送迎する保護者がいる。やむを得ぬ事情でない場合は、歩いて登下校させるべきである。
 - ⇒ 雷雨等の急な天候異変や、やむを得ぬ事情のある場合以外は、徒歩での集団登下校にご協力ください。事情のある場合は、担任または校長・教頭にご相談ください。

お互いのよさやその人らしさを認め合う！！

1日(水)全校児童が体育館に集まり朝会を行いました。私は子どもたちに、「お互いのよさやその人らしさを認め合う」というお話をしました。内容をお知らせしますので、ご家族の皆さんで話し合っただけであれば幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

『大平西ファイターズ』の皆さんは、毎日、練習を一生懸命やっています。立派ですね。4月27日(土)大平地区の大会があり、他の学校との試合をしました。選手の皆さんやベンチにいる皆さんが、最後まで諦めずに一生懸命プレーをしました。そして、見事に勝利を収めました。校長先生も応援に行きましたが、全力で戦う姿を見て感動しました。これからも、頑張ってくださいね。なお、大平西小には、野球の他にも、サッカー・陸上・体操などのスポーツ、音楽や習い事などを一生懸命取り組んでいる人がたくさんいます。これからも、自分の立てた目標に向かって最後まで諦めずに頑張ってください。

今日は5月1日。あさっての3日からは、4連休になります。安全に気をつけて、楽しい連休を過ごしてください。5月3日は「憲法記念日」です。日本の国が平和で、みんなが楽しく暮らせるようにと、いろいろな約束を決めた日です。その約束の中で、特に大事なことは「人は人らしく生きる権利がある」という約束です。この約束は、日本中のすべての人が守らなくてはならない、とても大切な約束です。

「人が人らしく」ということは、学校でいえば、お友だちのよさやその人らしさを認め合うということです。また、仲間はずれやいじめをしない。人の悪口を言ったり、けなしたりしない。お友だちの心や体を傷つけるようなことをしないということです。

このことを考えるために「ウサギとカメ」のお話をしたいと思います。

用意ドンでウサギさんはアツという間にカメさんを引き離し、これならお昼寝をしても、楽に勝てると途中で待つことにしました。しかし、あまりにカメさんが遅いので心配になったウサギさんは、来た道を引き返すことにしました。

すると、カメさんは汗をぶるぶるかいて一生懸命、坂道を登ってきました。それを見たウサギさんはカメさんをおんぶして、きつい坂を登りました。

しばらく行くと、今度は大きな池がありました。泳げないウサギさんが困っていると、今度はカメさんがウサギさんを背中に乗せて、泳いで渡りました。

そして、ウサギさんとカメさんは仲良く手をつないで一緒にゴールしました。

このお話を聞いて、皆さんはどう思いましたか？学校で一緒に勉強したり遊んだりするお友だちは、それぞれに得意なことや苦手なことがあります。生活の仕方や考え方、趣味なども、異なっています。このような違いをお互いに認め、尊重することが大切です。

お友だちと話すときは、いつも相手の気持ちを考え、悲しい思いをさせないように注意してください。学校生活が楽しいのは、このようにお互いを思いやるお友だちがたくさんいるからです。

今日は、「お互いのよさやその人らしさを認め合う」ということについてお話しました。

・・地域の皆様のご厚意に感謝いたします。・・

この度、下皆川第二「日枝老人会」の皆様(会長：椎名甲子一様)から、心のもった手縫い雑巾100枚を、また、「大平地域女性の会(西地区)」の皆様(代表：柳田和子様)からも、同じく手縫い雑巾を50枚もいただきました。これらの他にも、本校児童のお祖母さまから、たくさんの雑巾をいただきました。ありがとうございました。清掃活動等で使わせていただきます。

「アニメ路傍の石」



栃木市名誉市民の文豪山本有三先生は、小説『路傍の石』『真実一路』をはじめ、数多くの名作を残しました。本校では、この山本有三先生の教えを「学校経営方針」の重点項目に位置づけ『生命尊重・人権尊重』と『絆』を重んじる教育実践に努めております。

この度、朗読ボランティア「はなみずき」様から、『アニメ路傍の石』(金の星社)を1冊ご寄贈いただきました。本校では、昨年度の3学期に、同アニメ本を6冊購入しておりましたので、今回の寄贈本を加えると、全部で7冊になりました。「たった一人しかない自分を、たった一度しかない人生を、本当に生かさなかつたら、人間生まれてきたかいがないじゃないか。」という言葉から、本校の子どもたちは、「夢や理想に向かって力強く生きることの大切さ」を学んでいます。